

5月、区民
の選択で

と一緒に実現しましょう

国保料

値上げではなく引き下げを

年収400万円世帯(子ども2人の4人家族)で年42.6万円は全国最悪レベルです。区議会では負担軽減を求める陳情に「また出てきた」(自民)、「いたし方ない」(公明)と冷たく拒否。安倍政権の言いなりでは、さらに5年で7.5万円の値上げ計画で、年50.1万円になってしまいます。全国知事会と声を合わせて、国に1兆円の公費投入を求め、半額ほどに引き下げましょう。



介護

保険料・紙おむつ支給の改善



23区で最も高い介護保険料。自民・公明が「値上げは当たり前」と強行しました。引き下げこそ必要です。

また23区で最も厳しい紙おむつ支給要件(要介護3以上で非課税世帯)も改善し、安心して介護を受けられる足立区をめざします。

学校

いじめゼロ、不登校児支援
給食費無料化

学力テストや管理と競争で子どもたちが苦しんでいます。少人数学級を実現し、不登校の子どもに寄り添い、いじめのない楽しい学校をめざします。給食費無料化は、すでに実施しているおとなりの葛飾区方式(第三子以降無償)ならわずか1.7億円。やる気になればすぐできます。



足立区議会議員

西の原えみ子

プロフィール

●1959年荒川区生まれ●都立深川高・慶応義塾大通信教育課卒●築地市場・足立市場で働き、女性の地位向上のために新日本婦人の会で活動●区議1期、エリアデザイン調査特別委員会委員長●保育園父母会・PTA役員・学童父母の会会長など歴任●趣味／読書、絵手紙



<https://blog.goo.ne.jp/nishinohara39>

@nishinohara39

f emiko.nishinohara

財源は
あります

自民党・公明党の区政
区民には冷たい一方で

1601億円ものため込み金&民間企業には大盤振る舞い

自民党・公明党中心の区政が他の区では当たり前のサービスをやらずにため込んだ基金は、史上空前の1601億円になっています。その一部を活用すれば区民のねがいは実現できます。

行政を企業のもうけ口にする民間委託は、2年間の主な契約だけで総額115億円。巨額な税金が人材派遣会社などに流れています。再開発で千住1丁目の民間マンション建設に40億円の税金投入。使い方が間違っています。

4年前
1190億円

現在
1601億円

区民のために
使いましょう

5月の選択で
共産党をのばし
自民党をへらせば

消費税10%増税はとめられます!

自民党幹事長代行が「6月の日銀短観次第で延期もあり得る」と発言し、政権・与党から増税実施に動揺が始まっています。政治戦の審判で10%ストップに追い込みましょう。



くらしをおそうトリプル値上げ(消費税・国保料・介護保険料)にNOの声を

新あだち

2019年4・5月号外 新あだち社 足立区日ノ出町27-3-1130 鈴木秀三郎
日本共産党足立地区委員会の見解を紹介します。

●ご意見、ご要望をお聞かせください。日本共産党足立地区委員会 TEL 3889-8115 FAX 3852-3491 メール jcpa@dmail.plala.or.jp

自民・公明の
“壁”を突破して

共産党は区民の願いを 実現してきました

区民の痛みを感じない
自民党・公明党

VS

区民に寄り添う
日本共産党

認可
保育園

増設断念をせまる

自民が「0歳児を認可保育から外せ」、「ハコモノをつくるやり方は見直しを」と、まるで増設断念をせまる発言。

作らない姿勢を
変えさせて

認可保育園を42園増設

20年前から繰り返し増設を求め、代表質問だけで48回。区民運動と連携して実現し、10年前の20倍のテンポで増設が進んでいます。

がん
検診

自分の命は自分で守れ

無料化を求める陳情に「自分の命はまず自分が守るということを基本」と言い、放射能から子どもの健康を守る対策（甲状腺がん検査）を求める陳情にも「不安なら自費で検査を」と発言しました。

一律3割だった
負担を軽減

がん検診負担軽減

すべてのがん検診に一律3割負担を強いていたのは足立区だけでした。2015年6月に出された「無料化」を求める陳情を審議した31回の厚生委員会で自民・公明が審議を引き伸ばす中、共産党は毎回採択を主張して奮闘。ついに実現。

障害者
福祉

補聴器よりも私の眼鏡を

「補聴器購入補助」を求める陳情に、「なぜ補聴器だけなんだ。私の眼鏡も助成してほしい」と発言。「愛の手帳」4度（軽度）の手当を求める共産党提案には、「今後の中長期的な区政運営を考えた案とは言えない」と反対しました。

30年来の願い
ついに実現

知的障害「愛の手帳」4度の手当が実現

23区で足立区だけなかった「愛の手帳」4度の手当。「誰もが差別なく暮らせる街を」と、30年来、予算要望などで一貫して求め続けてきました。どんなに拒否されても、あきらめずにくり返し求めて、ついに実現しました。

足立区の
立憲・民主

自民・公明と一緒に 福祉切り下げ



キツバリと「反自民」の立場に立つべきではないでしょうか

議案（賛成は○、反対は×、継続は△）	共産	自民	公明	立憲・民主
少人数学級条例（2019年）	○	×	×	×
子ども医療費の助成条例（2018年）	○	△	△	△
区長提案 介護保険値上げ条例（2018年）	×	○	○	○
国保料値上げ条例（2019年）	×	○	○	○

手当の実現は本当にうれしい

足立区だけが支給していないと聞いて驚いていました。他の党が何も言わない中で、共産党の議員さんだけがくり返し取り上げ、ついに実現し、うれしかったです。さっそく手続きの書類も届きました。ありがとうございます。

（大谷田5丁目在住 K）

区民の苦難に寄り添って… これが日本共産党の立党の精神です

日本共産党区議団が提案した条例は20年間で40本。予算の根拠を持った提案は区政を動かし「乳幼児医療費助成」や「精神障害者の福祉手当」、「低所得者層の保育料無料化」などが実現しました。

困難に寄り添って解決のために全力を尽くす。これが立党の精神だからこそ、決してあきらめずに頑張ることができます。」



日本共産党を7から8へ伸ばして、願い実現の力をぐーんとアップを